



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	28	△58.7	△155	—	△184	—	△169	—
28年12月期第1四半期	70	—	△50	—	△50	—	△37	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △146百万円 (—%) 28年12月期第1四半期 △50百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△6.63	—
28年12月期第1四半期	△1.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	4,221	3,556	81.2
28年12月期	2,912	2,877	93.5

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,429百万円 28年12月期 2,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290	74.6	△2,040 ～△1,010	—	△2,050 ～△1,010	—	△1,960 ～△930	—	△75.29 ～△35.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	26,258,400株	28年12月期	24,758,400株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	－株	28年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	25,639,233株	28年12月期1Q	22,958,400株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国政権の経済政策に対し株価や為替が不安定になる等、国内経済に影響を及ぼす懸念が強く、先行き不透明な状況が継続しております。

国内医薬品業界におきましては、高齢者人口の増加等により医薬品使用額は増加傾向にあるものの、後発医薬品への切り替えの加速等から、市場規模の拡大ペースは鈍化しております。

このような状況の下、当社グループは新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品につきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、「グラナテック®点眼液0.4%（一般名：リパスジル塩酸塩水和物、開発コード：K-115）（以下、「グラナテック」）」が緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されており、販売状況は順調に推移しております。また、ライセンスアウト先のおかもと製薬株式会社により、「WP-1303（H-1129）」の緑内障・高眼圧症を適応症とした国内第Ⅰ相臨床試験が3月に良好な結果で終了し、現在、国内第Ⅱ相臨床試験に向けた準備が進められております。当社においては、「H-1337」の緑内障を適応症とした非臨床試験を進めました。さらに、2月に「H-1129」の緑内障等を対象に、日本を除く全世界の権利を付与するオプション契約を国内の医薬品事業会社と締結いたしました。

導入品につきましては、1月に株式会社ヘリオスより、BBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業を譲り受ける契約を締結し、事業譲受に向けた手続きが進められました。

研究開発プロジェクトにつきましては、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおいて、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行いました。また、子会社日本革新創薬株式会社（以下、「JIT」）は、2月に株式会社アイ・エヌ・アイが出願中の神経変性抑制剤に関する特許の下、眼科領域の実施許諾を受ける契約を締結いたしました。

売上高につきましては、「グラナテック」のロイヤリティ収入等により合計28百万円（前年同期比58.7%減）を計上しました。売上原価はありません。

研究開発費は、「H-1337」の非臨床試験費用の増加等により103百万円（前年同期比127.0%増）、その他販売費及び一般管理費は、支払手数料及び旅費交通費の増加等により81百万円（前年同期比8.4%増）であったことにより、販売費及び一般管理費は184百万円（前年同期比53.2%増）となりました。これらにより、営業損失は155百万円（前年同期営業損失50百万円）となりました。また、営業外費用に支払手数料18百万円及び為替差損7百万円を計上したこと等の結果、経常損失は184百万円（前年同期経常損失50百万円）、特別利益に新株予約権戻入益1百万円を計上したこと等の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は169百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) 自社創製品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先／開発コード
グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本	興和株式会社／K-115
H-1129	緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相臨床試験	日本	わかもと製薬株式会社／WP-1303
	緑内障	—	海外	未定（注1）
H-1337	緑内障	非臨床試験	米国	自社開発
K-134（注2）	—	—	日本	興和株式会社／K-134

（注1）H-1129の海外の権利は、国内医薬品事業会社がオプション権を有しており、現在評価中です。

（注2）ライセンスアウト先の興和株式会社により、閉塞性動脈硬化症以外の適応症への応用を検討されているため、対象疾患と開発段階は記載しておりません。

(ロ) 導入品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先	起源
眼科用鎮痛剤	眼の手術後疼痛	臨床試験準備中	日本	自社開発	英国企業
未熟児網膜症治療薬	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	JIT開発	国立大学法人 東京農工大学

(ハ) 研究開発プロジェクト

開発コード等	対象とする疾患等	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患	基礎研究

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1,308百万円増加し、4,221百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ1,303百万円増加したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第1四半期連結会計期間末95.6%、前連結会計年度末95.3%です。

負債は、前連結会計年度末から629百万円増加し、664百万円となりました。主な要因は長期借入金が600百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末から679百万円増加し、3,556百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が169百万円減少した一方で、行使価額修正条項付第9回新株予約権の権利行使等により、資本金が420百万円、資本準備金が420百万円増加したこと等によるものです。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第1四半期連結会計期間末84.3%、前連結会計年度末98.8%です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年2月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,291,934	3,595,323
売掛金	41,354	59,832
有価証券	353,089	291,872
その他	95,787	93,389
貸倒引当金	△5,824	△5,824
流動資産合計	2,776,341	4,034,593
固定資産		
有形固定資産	25,097	22,839
無形固定資産	1,383	1,657
投資その他の資産	109,972	162,566
固定資産合計	136,453	187,064
資産合計	2,912,795	4,221,658
負債の部		
流動負債		
未払金	9,653	24,131
未払法人税等	12,539	6,896
その他	13,341	17,717
流動負債合計	35,534	48,744
固定負債		
長期借入金	—	600,000
その他	—	15,949
固定負債合計	—	615,949
負債合計	35,534	664,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945,154	3,365,279
資本剰余金	2,934,528	3,354,653
利益剰余金	△3,157,132	△3,327,096
株主資本合計	2,722,550	3,392,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	36,344
その他の包括利益累計額合計	—	36,344
新株予約権	15,615	1,657
非支配株主持分	139,094	126,125
純資産合計	2,877,260	3,556,963
負債純資産合計	2,912,795	4,221,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	70,202	28,972
売上原価	—	—
売上総利益	70,202	28,972
販売費及び一般管理費		
研究開発費	45,409	103,073
その他	74,859	81,153
販売費及び一般管理費合計	120,269	184,227
営業損失(△)	△50,066	△155,254
営業外収益		
受取利息	483	368
その他	3	0
営業外収益合計	487	369
営業外費用		
支払利息	—	655
為替差損	836	7,609
支払手数料	—	18,000
その他	—	2,980
営業外費用合計	836	29,245
経常損失(△)	△50,415	△184,131
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,657
特別利益合計	—	1,657
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,415	△182,473
法人税、住民税及び事業税	311	459
法人税等合計	311	459
四半期純損失(△)	△50,726	△182,933
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,281	△12,969
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,444	△169,963

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△50,726	△182,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	36,344
その他の包括利益合計	16	36,344
四半期包括利益	△50,710	△146,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,428	△133,619
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,281	△12,969

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
減価償却費	2,020千円	3,277千円

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、クレディ・スイス証券株式会社が保有する行使価額修正条項付第9回新株予約権の一部について権利行使が行われております。当該新株予約権の権利行使の概要は以下のとおりであります。

①発行した株式の種類及び数 普通株式 1,500,000株

②発行価額の総額 827,950千円

※この結果、新株予約権の振替額12,300千円を含め、資本金が420,125千円、資本準備金が420,125千円増加いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

重要な事業の譲受

当社は、株式会社ヘリオスのBBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業（以下、「本事業」）において、平成29年1月31日に事業譲渡契約を締結し、平成29年4月30日に事業を譲り受けております。

1. 企業結合の概要

(1) 事業譲渡企業の名称及びその事業内容

事業譲渡企業の名称 株式会社ヘリオス

事業の内容 BBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、自社技術を基にした研究型の事業を展開しておりますが、収益力の強化に向けて「パイプラインの拡充」と「事業領域の拡大」を重点施策として掲げ、取り組んでおります。

自社創薬は当社の強みであります。薬の開発は長期間かつ多額の費用を要するため、収益の元となるパイプラインに厚みを持たせる必要があると考えておりました。特に眼科疾患については当社の注力領域として、開発品の導入を推進しております。

かかる状況下において、本事業は眼科手術補助剤として既に欧州で販売されており、今後は各国での開発の進展が見込まれることから、本事業の譲り受けは、当社の収益力の強化につながると判断いたしました。

今後は、ライセンスアウト先の開発支援並びに保有している領域のライセンスアウト活動に取り組み、早期の販売に向けて取り組んでまいります。

(3) 企業結合日

平成29年4月30日

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

2. 取得した事業の取得原価

取得の対価 現金 1,300,000千円

なお、開発や導出の進展等に伴い、マイルストーンの支払いが発生する可能性があります。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

当該影響額については重要性が乏しいため記載を省略しております。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現在算定中であります。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現在算定中であります。